

地域がん診療連携拠点病院＜川崎市立井田病院からのお知らせ＞

第68号 **井田山** (いだやま)

基本理念「井田病院は、自治体病院として、市民から信頼され、
市民が安心してかけられる病院づくりを目指します。」

発行責任者 北村 修

編集 川崎市立井田病院 ホームページ・広報委員会

川崎市中原区井田2-27-1

電話 044-766-2188 (代)

当院ホームページをご覧ください

川崎市立井田病院

川崎市立井田病院

新任 副院長兼看護部長 挨拶

4月1日付で、副院長兼看護部長として着任いたしました。

今日の医療は、高度急性期から慢性期までの病床の機能分化や在宅医療を推進し、介護との連携や多職種協働を強化することで「病院完結型」から「地域完結型」を目指しています。

チーム医療の要である看護師がどのように病院と地域を結び、役割を発揮できるかで市民の皆様提供される医療の質は大きく変わります。そのためにも看護師の育成に力を注いで参ります。

皆様のなご一層のご指導とご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。



副院長兼看護部長
藤原 実香

川崎市立井田病院

新任 病院長補佐 挨拶



病院長補佐
福原 昇

私は放射線治療一般を専門としており得意分野は高精度放射線治療(IGRT、IMRT)になります。残念ながら現在の当院の設備では実施できません。がん治療の有害反応対策として漢方薬を多用しており漢方の知識もあります。医療連携、患者の居住地、年齢分布や通院方法などを解析するなどの医療マネジメントの仕事もしておりました。指紋を使用した生体認証では特許と実用新案も取得しました。以前は臨床で骨髄移植に、研究で無菌動物に関係しており感染予防は今でも興味があります。これらの経験を活かしつつMRIを使用したがん診断(DWIBS)、オキシドール併用放射線治療(KORTUC)などの新しい技術とともに井田病院を悪性腫瘍患者の希望の施設にできればと思っています。

新任医師紹介

耳鼻咽喉科 医長 このえだ 此枝 生恵

皆様はじめまして。
出身大学は東京女子医大、専門領域は喉頭疾患(音声・嚥下・喉頭ガン)です。
趣味はサッカー観戦(すみません、レッズサポーターです)、登山などです。
今後ともよろしくお願ひ致します。

内科 副医長 阿南 隆介

2020年4月から内科副医長を拝命した阿南隆介と申します。
地域の皆様に寄り添った医療を心がけて参ります。
何卒よろしくお願ひ申し上げます。

呼吸器内科 副医長・内科兼務 亀山 直史

本年4月より川崎市立井田病院に赴任致しました、亀山直史と申します。専門は呼吸器内科ですが、緩和ケア・医療倫理の領域にもとりこんでいきたいと思っています。
皆様のお役に立てるよう、頑張ってお参ります。どうぞ宜しくお願ひ致します。

泌尿器科 副医長 井上 雅弘

はじめまして、泌尿器科の井上と申します。
東京生まれ、横浜育ちで川崎にも何度か遊びに来たことがあります。
泌尿器科医として10年目を迎えました。今まで培った知識・技術を使い井田病院で頑張ってお参ります。
具体的にはロボットや腹腔鏡を使った低侵襲な手術で貢献できればと思います。
日中は仕事を頑張り、夜は新米パパとして子育てにも関わっていききたいと思っています。よろしくお願ひします。

「セザンヌのアトリエ」と「初夏のプラハ」の2作品

中原区在住の画家、垣内宣子(のりこ)様から絵を2点、寄贈して頂きました。
垣内様は、大調和展で2018年内閣総理大臣賞を受賞されるなどのご活躍の一方、川崎市生涯学習財団の絵画教室で長年教えるなど地域の文化振興に大変貢献されていらっしゃいます。この度、寄贈して頂いたのはヨーロッパの風景を描いた「セザンヌのアトリエ」と「初夏のプラハ」の2作品です。生理機能検査室の前の廊下に展示していますので、是非、芸術の力に触れて元気をアップしていただければと思います。

中原区在住の画家
垣内宣子(のりこ)様

